ハード交付金の活用事業

（沖縄県事業）

沖縄県立八重山高校
（構造上危険な状態にある建物の改築）

構造上危険な状態にあった沖縄県立八重山高校の校舎を改築することで、生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境の整備を図った。

また、当該校舎は旧耐震基準の校舎であったため、合わせて耐震化が図られた。

○ 総事業費　7.8億円（うち国費4.2億円）

○ 事業期間：平成２５年度から平成２６年度

沖縄県立球陽高等学校
（高校新増築）

球陽高校（沖縄市）のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定（文部科学省事業）に伴い、サイエンスラボ室の新増築により、教育の円滑な実施が確保された。

○ 総事業費　0.46億円（うち国費0.31億円）

○ 事業期間：平成２６年度

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

☞　科学技術系人材の育成のため、各学校で作成した計画に基づき、地域の特色を生かした課題研究など様々な取り組みを積極的に行う。

ハード交付金の活用事業

（沖縄県事業）

沖縄県立美咲支援学校はなさき分校
（特別支援学校(高等部)の新増築）

特別支援学校の生徒が増加傾向にある中、沖縄県立美咲特別支援学校の教室不足の解消のため、分校の新増築により、魅力ある学校づくりを推進し、安全で快適な学習環境の充実した学校施設の整備が図られた。

○ 総事業費　8.1億円（うち国費5.8億円）
　うち、ハード交付金1.1億円（うち国費0.78億円）

○ 事業期間：平成２４年度から平成２５年度

沖縄水産高校～小型教習艇・圧力殺菌釜～
（産業教育施設整備事業・特別装置）

産業教育の実験実習に必要な装置である沖縄水産高校の小型教習艇および圧力殺菌釜を整備することで、生徒らの水産業等の産業に従事するために必要な知識、技能等の習得を図った。

○ 総事業費　０．６７億円（うち国費０．３９億円）

○ 事業期間：平成２６年度

～小型教習艇～

～圧力殺菌釜～

ハード交付金の活用事業

（市町村事業（北部圏域））

名護市立羽地小学校
（構造上危険な状態にある建物の改築）

本事業は、旧耐震基準により建設され構造上危険な状態にある校舎の改築事業である。学校施設の耐震化事業として実施した。

整備対象として昭和51年から昭和54年にかけて建設され、随所に老朽化が進行していた特別教室棟、管理棟及び普通教室棟の改築を行った。

耐震性を備えた施設にすることで、安心・安全な教育環境を構築され、学校教育の充実が図られた。

○ 総事業費　7.7億円（うち国費5.8億円）

○ 事業期間：平成26年度から平成27年度

大宜味村立大宜味中学校
（屋外教育環境の整備に関する事業）

小学校統合新設及び中学校の移転新設に伴い小・中学校連携による教育施設の集約により教育環境の充実を図るため整備を行った。

これにより、屋外教育環境の充実が図られ、教育課程や課外活動が活発になり、更に地域開放により村民の健康増進にも寄与している。

○ 総事業費　0.59億円（うち国費0.3億円）

○ 事業期間：平成27年度

ハード交付金の活用事業

（市町村事業（中部圏域））

うるま市立高江洲小学校
（学校水泳プールの整備に関する事業）

学校敷地が狭隘なため、敷地の有効活用を図り、校舎増改築と併せてプールを校舎の屋上に設置し、学校教育上支障の無い範囲で、一般に開放するよう配慮された義務教育諸学校の屋外水泳プールの整備を行った。

○ 総事業費　１.１６億円（うち国費０.８８億円）
○ 事業期間：平成２６年度から平成２７年度まで

沖縄市立中の町小学校
（学校水泳プールの整備に関する事業）

これまで屋外に設置されていた中の町小学校水泳プールを、校舎の老朽化に伴う全面改築に併せて新設校舎屋上に改築し、児童の教育環境向上を図った。

○ 総事業費　０.９７億円（うち国費０.73億円）
○ 事業期間：平成２７年度

ハード交付金の活用事業

（市町村事業（南部圏域））

浦添市立浦添小学校
（太陽光発電等の整備に関する事業）

　児童生徒の環境教育等に活用するため、校舎屋上に太陽光発電設備や発電状況を表示するモニター等の整備を行った。

○ 総事業費　0.32億円（うち国費0.16億円）

○ 事業期間：平成26年度

那覇市立仲井真中学校
（防災機能の強化に関する事業）

　近年の大規模な地震では、天井材の落下などの被害も発生していることから「非構造部材」の耐震化が求められる。仲井真中学校武道場の天井は、落下しても被害の出ない軽量天井に張り替え、照明器具は新規に落下防止対策を施した器具を設置した。

○ 総事業費　0.09億円（うち国費０．０３億円）

○ 事業期間：平成２７年度

⇐施工前

既設天井（木製）

施工後⇒

軽量天井（2kg/㎡以下）
照明設備（落下防止対策）

ハード交付金の活用事業

（市町村事業（宮古圏域））

宮古島市立鏡原幼稚園

（構造上危険な状態にある建物の改築事業)
(幼稚園の園舎の新増築事業 ）

園舎の老朽化が著しく、また、園児数の増加により園舎が狭隘なため、十分な活動が難しくなっていた。新増改築を行うことにより、園児にとって安全安心な教育環境が構築され、教育環境の充実が図られた。

○ 総事業費　１億円（うち国費0.６８億円）

○ 事業期間：平成２６年度

宮古島市立久松幼稚園

（構造上危険な状態にある建物の改築事業）
（不適格改築事業）
（幼稚園の園舎の新増築事業）

園舎の老朽化が著しく、また、園児数の増加により園舎が狭隘なため、十分な活動が難しくなっていた。新増改築を行うことにより、園児にとって安全安心な教育環境が構築され、教育環境の充実が図られた。

○ 総事業費　１億円（うち国費0.６９億円）

○ 事業期間：平成２６年度

ハード交付金の活用事業

（市町村事業（八重山圏域））

竹富町立西部共同調理場
（学校給食施設の改築事業）

　西部共同調理場は昭和56年度に建築され、築33年が経過し、老朽化によりコンクリートのはく離などがあり危険建物であった。
　児童生徒への学校給食の安全と、建物の耐震性の確保を図るため、ドライシステムにより改築工事を行った。

○ 総事業費　1,23億円（うち国費0,68億円）
○ 事業期間：平成26年度

石垣市立明石小学校
（構造上危険な状態にある建物の改築（屋体））

　昭和55年度建設の屋内運動場が構造耐力度上危険と判断されたため、新耐震基準に適合した施設整備をおこなった。
　これにより、安全・安心な学習空間の確保及び運動競技の技術力向上に寄与する。

○ 総事業費　1.85億円（うち国費1.4億円）
○ 事業期間：平成26年度